

平成 30 年度 校務改善推進事業発表会について（報告）

1 日時 平成 30 年 11 月 19 日 午後 2 : 30～午後 4 : 45

2 場所 都庁第一本庁舎 5 階 大会議場

3 内容

- 今年度の取組・事業説明
- 事例発表（青梅市立若草小学校・あきる野市立五日市中学校・品川区立第三日野小学校）

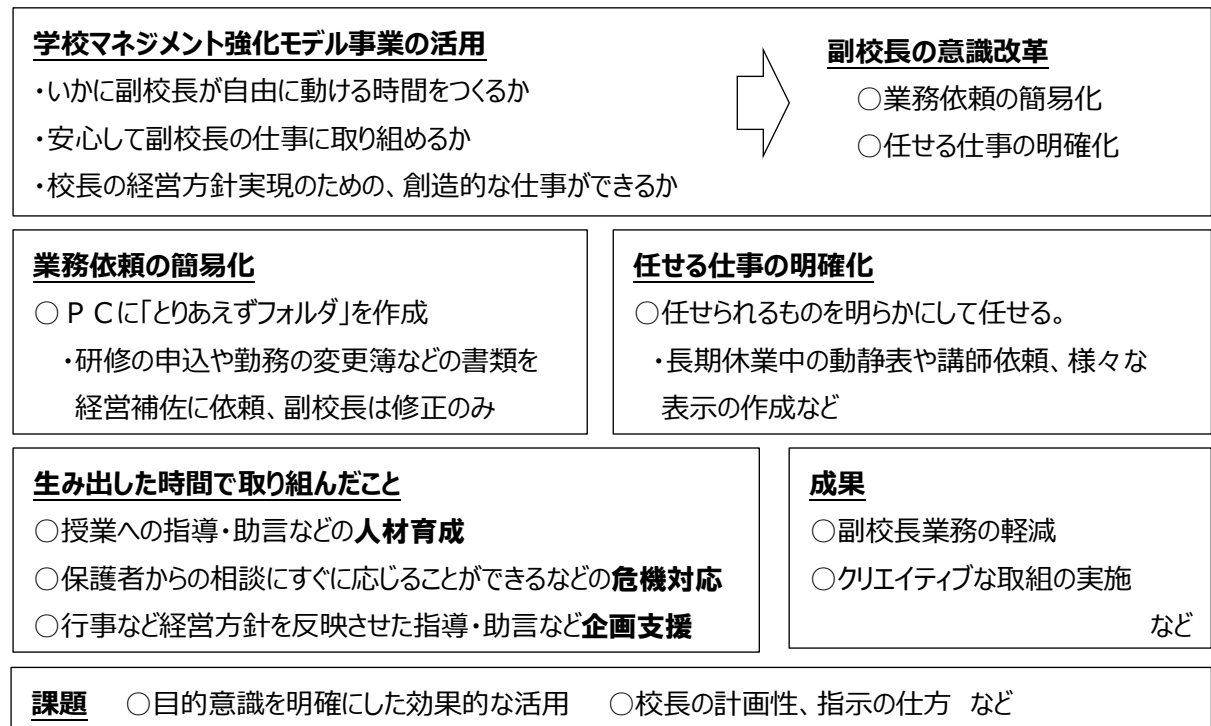
4 参加者

- 342 (346) 名 ※ () 昨年度人数
 - ・校長 90 (80) 名 ・副校長 130 (122) 名 ・主幹教諭 27 (26) 名 ・主任教諭 10 (22) 名
 - ・教諭 2 (3) 名 ・学校事務 44 (63) 名 ・教育委員会 39 (30) 名

5 事例発表の内容

(1) 事例発表 1 青梅市立若草小学校 「学校マネジメント強化モデル ～副校長の業務軽減を図る～」

「人材育成」と「機能する組織作り」という二つの課題の解決に向け学校マネジメント強化モデル事業を活用。補佐をする非常勤職員（元管理職）への業務依頼の簡易化、任せる仕事の明確化を進め、副校長の意識を改革。時間を生み出すことで余裕を作り、学校経営方針の実現を始めとする副校長業務にクリエイティブに取り組めるようになりました。



(2) 事例発表2 あきる野市立五日市中学校 「五日市中学校の学校経営支援組織について」

学校経営支援部の役割を明確にして会議を実施。特に事務部とのつながりを強化し、外部契約の窓口を事務部が務めるなど教員の負担軽減を推進。また、経営計画でボトムアップによる提案を明記。職員の発案から行事を精選し進路指導にも好影響が出ました。さらに、ミドルリーダーが OJT を実施することにより意識が向上。若手教員の指導力アップにもつながりました。

<p>事務部とのつながりを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校外学習など業者との連携 ○「何でも聞いちゃえ」講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・サービスなどの理解が深まりサービス事故防止へ 	<p>ボトムアップの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営方針に明記し、提案を促進 ○ミドルリーダーによる OJT の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「どうしたら」から「こうしたら」へ意識が改革
<p>その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者、地域へ学校の働き方を周知 <ul style="list-style-type: none"> ・予定表に定時退勤日、退勤週間を記載し配布 ○校長から新規採用教員の家族への手紙 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の安心感につながり、教員のやる気へも好影響 	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支援部を中心とした円滑な業務の推進 ○ミドルリーダーの活躍で若手教員の指導力向上 ○教員、保護者、地域の意識の改革 など
<p>課題 ○各分掌とのより密な連携 ○学校経営支援会議の時間の設定 など</p>	

(3) 事例発表3 品川区立第三日野小学校 「品川区立第三日野小学校の校務改善について」

スクール・サポート・スタッフを活用して校務改善を推進。スタッフへの依頼状況が2週間先まで分かる To-Do 表を作成するなど、教員が業務を依頼しやすい環境を整え負担軽減を進めました。また、校務分掌に各部の中の係をまとめる主任ポストを新設。主任教諭が一定の結論を出せるシステムを構築するなど、ミドルリーダーが活躍できる組織作りを進めました。

<p>ミドルリーダーの活躍の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分掌に主任ポストを新設 <ul style="list-style-type: none"> ・細かいことまで何でも管理職に相談する習慣が、このシステムにより主任教諭に相談する流れへ。 「どうしよう」から「こうしようか」へ主任教諭の意識が変化
<p>スクール・サポート・スタッフ配置支援事業の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務場所の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・職員室の副校長の席の隣にスタッフの机を配置。効率的な依頼と作業を実施 ○計画的な教員の業務の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの2週間先までの業務の状況（作業内容と所要時間、緊急度を付箋に記入）を掲示。教員が先を見通して依頼することで計画的な業務を推進
<p>その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年主任へ「勤務時間を意識した学年の進行管理」を自己申告の面接などで設定 ○定時退勤日を曜日で限定せず週一回実施を推進。出退勤マグネットを使い定時退勤が見える化
<p>改善のポイント ○即断即決 ○日頃から改善に興味を持ち情報の共有化 など</p>